



01. 概要

地球温暖化ガスである二酸化炭素(CO₂)は、一般ビルにおいて概ね建設時15%、運用時70%、改修・廃棄時15%の割合で排出されると言われ、運用時のエネルギー消費が大きく影響しています。この運用時エネルギー消費内訳を見ると、一般事務所においては空調動力40%、照明設備30%、エレベータ・給湯他10%、厨房・ガス・上下水道他15%となっており、ビルの空調動力の削減は地球環境保護の面からも急務となります。

当社はビルの空調熱源・搬送機器などの運用時のエネルギー消費量と負荷量の測定を行い、その結果より機器・システムの省エネルギー性を診断するシステムを構築致しました。測定結果からは、大幅な省エネルギーを実現するための運用管理面の改善やシステム・リニューアルについて提案を行います。

提案は当社でリストアップした運用面を含めた省エネルギー項目(全174項目)全てについて適用可能か検討を行い、適用可能と思われる対策について省エネルギー性や費用対効果のシミュレーションを行います。これにより、これらから直ぐに対応すべき対策、将来対応すべき対策など優先順位をつけて順次対策を行ってゆく事が可能となります。

02. 特徴

- ① お客様のビルに対応可能な省エネルギー施策を提案致します。
- ② シミュレーションに裏付けされた効果の高い省エネルギー対策を提案致します。
- ③ 環境・省エネルギーを目的とするビルの中長期的な修繕・改修計画が立てられます。
- ④ 省エネ優遇制度を利用すれば、有利な条件で省エネ効果の高いシステムを手に入れられます。

03. 応用例

全ての建物用途についての新規計画およびリニューアル

04. 概念図

省エネルギーシミュレーションシート

